



【表紙写真】 情報システム課・用度課・危機管理室

Dr. topics(副院長 放射線科 宮川勝也 医師)
部署紹介【情報システム課・用度課・危機管理室】

Healthy room

健康だより【春バテ】

ナーシングホームひだまり

Mobile Training Lab

外来コラム

救外コラム／鹿屋体育大学サッカー部通信

4月 外来診療表

第10回 池田病院
腎臓病教室

- ◆日時：令和7年6月14日(土)
14:00～(2時間程度)
- ◆場所：池田病院 多目的ホール
- ◆参加料：無料 ◆定員：20名程度

- 【講話内容】
- ①日常生活の注意点(看護師)
 - ②薬と腎臓について(薬剤師)
 - ③実践！腎臓を守る運動(作業療法士)
 - ④慢性腎臓病と食事について(管理栄養士)
 - ⑤医療費の制度について(社会福祉士)
 - ⑥腎臓病について(腎臓内科医師)

【お問合せ先】池田病院ケアサポートセンター
(平日 8:30～17:30) 担当：小牧
☎(0994)43-3434(代表)

副院長
放射線科

宮川勝也 医師

放射線科の宮川です。今回で3回目になります。1回目は放射線科の業務について、2回目は医療安全について執筆しました。今回は「人工知能」をテーマにして話したいと思います。

皆さんは、ChatGPTなどの生成AIを使用したことがありますでしょうか？私は半年くらい前から使い始めています。ちなみに「生成AI」とは、テキストや画像、音声などを自律的に生成できるAI技術の総称で、人間のように文章や画像を生成し、多岐にわたるタスクを自律的にこなすことができる革新的な技術です。使い方は人それぞれあると思いますが、対話形式なので何も知らなくても的確な回答に辿り着けたりするなどととても便利で、今では有料版を使用したり複数の生成AIを使用したりしています。ただ、まだまだ使い方に工夫が必要であると感じています。

人工知能の概念は、なんと1950年代に遡ります。1956年に米国で開催された「ダートマス会議」において、“AI”という言葉が初めて提唱されました。その後、何度かのブームと冬の時代を繰り返してきたようです。探索・推論から始まった第1次AIブームは、音声認識等が組み込まれた第2次AIブームを経て、2010年頃から第3次AIブームとしてディープラーニング(深層学習)をはじめとした革新的な技術が登場し、社会で実用され得るAIが開発されて社

会に浸透していきました。2022年頃からのChatGPTなど生成AIの登場と急速な普及により、現在は冬の時代を経ずに第4次AIブームに入ったと言われています。ChatGPTは、公開からたった2か月でユーザー数が1億人を突破するという、これまでのオンラインサービス(例えばFacebookは1億人突破まで54ヶ月)などと比較しても、驚異的なスピードでユーザー数が拡大しているそうです。

ところで総務省は昨年発表した2024年版情報通信白書で、日本での生成AIを使ったことがある個人が9.1%にとどまるとの調査結果をまとめました。比較対象とした中国(56.3%)、米国(46.3%)、英国(39.8%)、ドイツ(34.6%)とは大きな開きがみられています。企業向けのアンケートでは、生成AIを部分的にでも業務で活用する方針としている割合は42.7%で、米国(78.7%)、中国(95.1%)、ドイツ(80.6%)に比べて非常に低い結果でした。日本は海外に比べ、ブームに乗り遅れているようです。そのような中、日本の企業では大企業ほど利用率が高く、小さい企業では利用率は極めて低いようです。業種別の導入率については情報通信業がトップで、次いで金融業・保険業、電気・ガス・熱供給・水道業の順に導入率が高く、反対に導入率が低いのは医療・福祉関連(6.6%)が

最も低く、次に宿泊・飲食サービス業(8.6%)、運輸・郵便業(9.4%)などとなっています。因果関係は不明ですが、一般に人手不足とされる業種ほど、生成AIの導入が進んでいないようだと言われています。

日本で医療分野において生成AIの導入が進まない理由として、他の分野と比べて法規制やデータ管理、診断の責任問題などの壁が国内にあり、慎重な導入が求められるようです。つまり、医療機器としてAIを導入するためには厚生労働省の承認が必要であり、時間がかかります。日本の医療機関では電子カルテのフォーマットが統一されておらず、AIに適した大規模なデータの収集が難しい。さらに、AIが補助ツールとしての役割を果たすことは受け入れられつつあるが、倫理的・法的な課題がとりたてられています。とりあえず、日本の医療AIを発展させるためには、データ活用の仕組みづくりや規制緩和が重要な鍵となるようで、まだまだ時間がかかりそうです。そのような中、ある大学病院では退院時サマリーや看護サマリー作成支援のほか、診療情報提供書の作成や抗生薬適正使用支援など限定的に運用している施設もでてきています。放射線科領域は、医療分野の中ではAI活用が進んでおり、今後さらに発展が期待される分野の一つです。例えばCTやMRIは生データから画像再構成という過程を経て我々がよく目にする画像ができますが、その再構成の過程にAIが活用されています。S/N比とは目的とする信号(Signal)と雑音(Noise)の

比をいいますが、今までは画質を良くすれば雑音も増える相反するものでしたが、AIを活用することにより、簡単に言えば画質を良くしさらに雑音もおさえるという、今までの考えとは異なる再構成ができるようになっていきます。また、被ばく低減にもつながります。さらに、CAD (computer-aided detection/diagnosis) コンピュータ支援診断システムにAI技術が導入されています。例えば、肺結節や乳がんの診断において、AIが疑わしい病変を自動的にマーキングし、医師の見落としを防ぐ手助けをしています。現在AIによる病変検出の精度は向上しており、診断の補助ツールとしての有用性が認められています。加えてAIは、読影支援にも活用されています。今の時代CTやMRIは大量の画像データがあり、放射線科診断医の読影業務量は途方もなく増えています。AIを活用して短時間で解析し、病変の検出や鑑別を行うことで放射線科医の負担軽減につながることを期待されています。ただし、近い将来ではなさそうです。

最後に、これまでも自分自身をアップデートする方法はいろいろあったと思いますが、生成AIは比較的タイプのいい、今の時代にあったツールだと思います。みなさんも一度試してみてください。いかがでしょうか。

(この原稿はChatGPT-4oを利用して作成しました。)

情報システム課

情報システム課は、病院内のITインフラを支える重要な役割を担っており、患者さんの安全確保と医療現場の効率化を目指し、常に安定したシステム運用を心がけています。現在、常勤スタッフ4名が在籍し、病院全体のシステム管理を行っています。

当課の主な役割は、病院内で使用される各種情報システムの導入や運用及び保守を通じて、医療現場が効率的かつ安全に業務を遂行できるよう支援することです。特に、2010年11月に導入されたオーダリングシステムや、2017年10月に導入された電子カルテシステムにより診療情報の一元管理が可能となり、これに伴い医師や看護師をはじめとした病院スタッフ全体の業務負担が軽減され、患者さんへのサービス向上にも大きく貢献しています。

また、当課の業務はシステムの導入や運用及び保守にとどまらず、セキュリティ対策やデータ管理、ユーザーサポートなど多岐にわたります。具体的には、以下の業務を行っています。

1. システムの導入・運用・保守

新たなシステムやアプリケーションの導入を計画し、その導入支援と運用を担当します。また、既存システムの定期的なメンテナンスやアップデートを実施し、安定した稼働状態を維持しています。

2. セキュリティ対策

医療情報の機密性を確保するため、ファイアウォールやアンチウイルスソフトの導入などを行い、安全なシステム環境を維持しています。

3. データ管理

病院内で生成される膨大な量のデータを適切に管理し、迅速かつ正確に必要な情報を提供できる体制を整えています。また、バックアップの冗長化を進め、災害時にも迅速に対応できる体制を整えています。

4. ユーザーサポート

各部署から寄せられるシステムトラブルや、技術的な質問に迅速に対応しています。スタッフに対する技術支援も行い、業務が円滑に進むようサポートしています。

このように、私たち情報システム課は病院全体のITインフラを支えるとともに、医療現場のスタッフが円滑に業務を遂行できるようサポート体制を整えています。そのためにも、最新の技術を学び、それを現場で実践に活かすことを心がけています。また、昨今の生成AI技術の進歩に伴う新しいシステムやツールの導入にも積極的に取り組み、病院全体のIT基盤を強化することで医療の質の向上に貢献したいと考えています。

今後も、患者さんとスタッフにとって安心かつ快適な医療環境を提供し、病院全体の発展を支える存在として日々努力を重ねてまいります。



情報システム課 課長 平田嘉宏

用 度 課

用度課は、常勤スタッフ4名の部署です。

池田病院や老健ひだまり及び鹿屋訪問看護ステーションの購買管理を担当しており、各種メーカーや卸業者とのパイプ役として、高額な医療機器から1本1円に満たない材料・文具類まで、全ての物品の調達と安定供給を担っています。



そのために、スタッフの入れ替わりや一時的なマンパワー不足に左右されない体制づくりを目指して、2022年には「SPDカードによる在庫管理方式」を導入し、2024年には医療材料SPDの外部業務委託を導入するなど、ここ数年で様々な業務改善に取り組んでまいりました。人手を要するルーチンワークを外部委託した事で院内業務が大幅に簡素化され、常備している用度課内の在庫圧縮にも成功しました。

また、次年度の購入予算申請や、予算外の購入・修繕・廃棄などの各種申請書の受付・処理も担当しており、年間を通しての購入調整やコスト削減にも力を入れています。

健全な病院経営にダイレクトに貢献できることを「やりがい」として、日々の業務に努めています。

【主な業務内容】

○安定供給

受注発注業務・預託在庫管理・買出し業務・検品業務・納品業務・倉庫整理

○コスト削減

価格交渉・商品比較・デモ依頼・使用材料データ構築・在庫適正化

○伝票処理

入荷処理・請求処理・棚卸処理・勘定科目仕分け

○申請書処理

次年度予算申請・物品購入申請・修理改修申請・廃棄申請の受付
購入調整、調達、管理

○リース管理

契約・更新・見積り・スケジュール管理

○その他

経費に関する各種集計

用度課 主任 山本智子

危機管理室

危機管理室は、池田病院をはじめとする青仁会施設において、患者様・利用者様及び職員が安全で安心できる職場環境を確保・維持するため、令和2年4月に設置されました。

業務内容としましては、まず一つ目が保安対策に関することです。施設内における暴力、暴言や悪意が窺えるクレーム、その他犯罪が疑われるような事象に対応しており、場合によっては警察への相談やご指導をいただくこともあります。



二つ目は、コンプライアンスの推進に関することです。現代では、企業に対して法令だけでなく、社会規範やモラルまでを含めた広義のコンプライアンスを遵守することが求められています。特に医療従事者は、人の命や健康を守るという崇高な使命と責任に加え、高い倫理観が求められるものと承知しており、法人が地域から愛され、信用・信頼を維持させるためには、職員一人一人が高い意識をもってコンプライアンスを推進する必要があると考えています。

当室設置時に法人の関係規程を整理するとともに、コンプライアンスに関する相談通報窓口を当室に一元化し、必要な調査や対策を行うこととしているほか、職員の採用時研修や管理者等を対象とした研修の実施や教養資料の作成・配布など、企業倫理や社会規範尊重の意識向上に努めています。特に、セクハラ、パワハラなど、各種ハラスメントの防止や対策には気を配っています。

三つ目は、交通安全対策に関することです。法律に基づいて選任された安全運転管理者と連携しながら、職員に対する交通安全指導を行っております。業務に使用するいわゆる公用車の運転はもちろんのこと、通勤など普段の運転における交通事故や交通違反、交通マナー違反の防止に向けた指導に努めています。

これらの柱となる業務のほか、職員からの「よろず相談」にも応じています。業務の性質上、高いストレスや対応が難しい案件を抱えることも予想されるため、私がこれまで培った経験や知識により、少しでも気が楽になるような、前に進めるようなアドバイスができたらと思っています。

今後も、患者様等及び職員の意見、要望等を踏まえつつ、関係部署と連携して安全で安心な環境の下で、「笑顔と真心で最良の医療サービスをお届けする」という法人の基本理念を恒常的に実践する礎となるよう努めて参ります。

危機管理室 室長 橋本浩之



Healthy Room



ぽかぽかと暖かな陽気に包まれながら、新年度がスタートしました。
この機会に、食生活を見直す一歩としてバランスのよいお弁当作りに挑戦してみましょう。

栄養バランスの良いお弁当

- 肉や魚よりも、野菜がたっぷり食べられる工夫
主食：主菜：副菜＝3：1：2になるように
- 主食はお弁当の半分
- 副菜(野菜や芋、海藻、きのこ類)は140gぐらいを目標に
- いろいろな味を組み合わせ(甘・辛・塩・酸)



おかずを彩りよく盛り付ける

白・黒・赤・黄・緑・茶の6色のうち、**4色以上**をそろえると彩りよく仕上がり簡単に栄養バランスが整います。

白 (ごはん・パン・じゃがいも など) **黒** (のり・ごま・ひじき など)

赤 (トマト・人参・鮭 など) **黄** (卵・南瓜・とうもろこし など)

緑 (ブロッコリー・アスパラガス・ほうれん草 など)

茶 (牛肉・豚肉・鶏肉・きのこ類 など)

食べる人にあったお弁当箱を選ぶ

年齢、性別、活動量に合ったサイズのお弁当箱を選びましょう。バランスよく詰めるとお弁当箱の容量(ml)と詰めたお弁当のカロリーはほぼ同じになります。

★副菜の作り置きレシピ★ 冷凍OK!

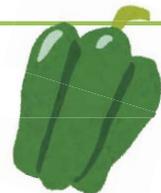
ピーマンのみそきんぴら (43kcal 塩分0.2g)

ピーマン…30g 人参…10g

ごま油…2g すりごま…0.5g

みりん…3g みそ…2g

- ① ピーマンは種をとり細く切る。
- ② 人参は千切りにする。
- ③ ごま油で①②をいため、みりん・みそで調味する。
- ④ 器に盛り、すりごまをふる。



管理栄養士 松井香代子

“春バテ”

季節の変わり目の体調不良に対処して 健康に過ごそう

春バテとは、その名のとおり「春に起こりやすい心身の不調」の総称です。春は寒暖差などの気温の変化が大きいことに加えて、異動や転勤、新生活の始まりなど、生活が大きく変化する季節です。変化に対応するため外部の刺激に適応し、体を健康な状態に保つ「自律神経」が過剰に働きます。その結果心身の調子を崩しやすくなり、いろいろな症状があらわれます。

主な症状



春バテと自律神経の関係

上記のような症状は、主に自律神経が関係して引き起こされるといわれています。自律神経は体の重要な器官の働きを調節し、外部の刺激に適応して健康な状態を保つ神経です。自律神経には活動的なときに活発化する交感神経と、リラックスするときに活発化する副交感神経があります。相反するこれらの神経が、交互に働くことで体を調節しています。しかし何らかの原因で自律神経のバランスが乱れると、体の調節がうまくいかず、体調が変化することがあります。

自律神経のバランスを乱し、春バテを引き起こす原因

- 3～4月にかけての激しい寒暖差による影響
- 天候や気圧などの影響
- 生活環境の変化によるストレスの影響



春バテの予防・対策

栄養バランスの取れた食事を取る

食事は健康の基本です。栄養素のバランスが整った食事を心がけましょう。疲労回復に効果的な玄米、豚肉、豆類など良質なたんぱく質、高エネルギーの食材の積極的な摂取などを意識すると良いでしょう。

腸内環境を整える食事を意識する

腸内環境を整えるには腸内細菌の多様性を保つこと、中でも善玉菌の数を増やすことが大切です。善玉菌のエサとなる食物繊維(果物や海藻類、大麦など)をたっぷり摂りましょう。善玉菌は、味噌やヨーグルト、漬物、キムチなどの発酵食品から摂ることができます。

質、量ともに十分な睡眠を取る

慢性的な睡眠不足は日中の眠気や意欲低下・記憶力減退など精神機能の低下を引き起こすだけでなく、体内のホルモン分泌や自律神経機能にも大きな影響を及ぼすことが知られています。適正な睡眠時間には個人差がありますが、6時間以上を目安にすることが推奨されています。

適度な運動を行い、リラックス方法を見つける

適度に運動をして体を動かすことは、メンタルヘルスや生活の質の改善に効果をもたらすと言われています。これまで運動習慣のない人がいきなりスポーツをするとケガにつながる可能性もあります。まずは普段の生活で歩く歩数を増やす、意識して階段を使うといったところから始め、ストレッチやヨガなどリラクゼーションに効果的な運動を取り入れたりすると良いでしょう。

湯船に浸かる

湯船に浸かると体が温まって血流が促され、リラックス効果が期待できます。疲労感の軽減や睡眠の改善になるという声もあり、春バテの症状改善にもつながるでしょう。お気に入りの入浴剤でさらに効果 up も。

服装を調整して体温を調節する

季節の変わり目である春先は、服装選びが難しい時期でもあります。服装を上手に調整して、自律神経が過度の刺激を受けず、バランスを崩しにくくなるように努めましょう。

自分なりのストレス発散・疲労回復方法を見つける

人によって、マッサージを受ける、動物と触れ合う、趣味に没頭する、音楽を聴く、好きなドリンクを飲むなど、ストレスや疲労をリセットする方法は様々あります。自分なりの方法を見つけておきましょう。さらに季節の変わり目に限らず、規則正しい生活を心がけ、ストレスや疲労がたまってきたと感じた時は、自分に合った方法で上手にリセットしましょう。

こんにちは、保健師です。

春はいろいろな変化が多い時期で、新しいことが始まるわくわく感とそれに伴う不安など、心身ともに影響を受けています。自分にあった対処法を見つけ、春バテ対策ができたらいいいですね。



ケアサポートセンター
徳田・小牧



入所相談部門のご紹介



桜のつぼみが膨らみ、若葉の緑がまぶしい季節となりました。
今月は「入所相談部」を紹介いたします。

現在のスタッフは、支援相談員の専任が1名と介護支援専門員との兼任が3名の、
合計4名が在籍しています。
私たちが窓口となり、皆様からのご相談に対応させていただきます。



「分かりやすく、丁寧に」をモットーに対応いたします。
ひだまりをご利用いただくには、介護度1～5の要介護認定を持っている方が対象ですが、ショートステイは要支援1・2の方もご利用可能です。

- 例えば…
- ①歩行や排泄の支援が必要になったのでリハビリをしたい
 - ②自宅での生活が難しくなった
 - ③ご家族の支援が一時的に難しくなった
 - ④ショートステイの利用を検討中
 - ⑤暑い時期・寒い時期を自宅で過ごすのは体調面が心配



など、その他の内容でもどうぞお気軽にご相談ください。
お電話お待ちしております。

【入所相談直通電話番号：0994-36-0061】

ひだまり 介護支援専門員 東由理子

●介護老人保健施設とは、介護が必要な方の家庭復帰・在宅支援をめざし、生活サービスを行います。

利用対象者：介護保険の被保険者が対象となります。要支援1・2/要介護1～5の方(入所サービスは要支援を除きます。)

手続き方法は、当施設か、担当ケアマネージャーにご連絡ください。見学をご希望の方はいつでも2階の受付
またはお電話にてお申し付けください

ひだまり通所リハビリ

※月曜～土曜日のどの曜日も受け入れ可能です。短時間利用のコースもあります。新規にご利用を希望される方は問い合わせ先までご連絡ください。 ◆お問合せ先：通所リハビリ 繁昌(支援相談員)

ひだまり訪問リハビリ

※住み慣れた在宅での生活が安心・安全にその人らしく継続できるように支援して参ります。こんなことが楽にできるようになりたい、こんな生活がしたいなどの希望があれば下記連絡先までご連絡ください。 ◆お問合せ先：訪問リハビリ 星野(理学療法士)



介護老人保健施設
ナーシングホームひだまり
ショートステイ/通所リハビリ/訪問リハビリ
代表(0994)41-1200/通所(0994)41-1725

ひだまりホームページアドレス
★<https://rouken.ikedahp.com>
ホームページからのお見舞いメールもぜひご利用ください

Mobile Training Lab

去る3月2日日曜日に、日本メドトロニック株式会社が所有する国内唯一の「Mobile Training Lab」が池田病院に初めてお目見えしました。



このトラックは、透視装置や手術台および通信装置を完備しており、人体模型を使用してペースメーカ植込みなどの治療手技をトレーニングできるものです。以前テレビで放映されたドラマ、「TOKYO MER ～走る緊急救命室～」をご覧になった方は想像しやすいかもしれません。これまでに日本全国を巡回しており、福岡や熊本、出水市そして霧島市を経て池田病院に遥々やってきました。

今回は、「リードレスペースメーカ」という2017年に保険償還された新しいペースメーカについて、コメディカルスタッフがその手技の実際と助手業務をトレーニングしました。

参加人数は医師5名に看護師1名、臨床工学技士3名、臨床検査技師3名および放射線技師2名の計14名でした。普段の業務では医師がペースメーカ植込みを行い、そのサポートをするメンバーですが、今回のトレーニングでは人体模型を使用して実際に植込み手技を経験し、また、お互いにサポートし合うなどして治療に関する理解が一層深まる機会となりました。

参加人数は医師5名に看護師1名、臨床工学技士3名、臨床検査技師3名および放射線技師2名の計14名でした。普段の業務では医師がペースメーカ植込みを行い、そのサポートをするメンバーですが、今回のトレーニングでは人体模型を使用して実際に植込み手技を経験し、また、お互いにサポートし合うなどして治療に関する理解が一層深まる機会となりました。

このように、池田病院循環器内科不整脈チームは「笑顔と真心で最良の医療サービスをお届けします」の理念のもとに、今後も患者様のために日々研鑽を積んで参ります。

循環器内科 田上和幸





外来コラム

外来コラム始動!

ロードレース救護活動報告

春の暖かい日が差し、過ごしやすい気候になりました。3月は花粉症の症状がひどく、目の痒みや鼻水が出て落ち着かない日々を過ごしました。外来師長の河野です。

去る2月22日に、JBCF(全日本実業団自転車競技連盟)による「第3回鹿屋・肝付ロードレース」、2月23日には「志布志クリテリウム」の自転車競技が行われ、池田病院は救護チームとして参加致しました。

両日ともに天候に恵まれましたが、気温は低くととても寒い一日でした。

大会当日は競技中に落車事故が発生し、約30人を対象に救護対応をいたしました。大会で使用される自転車(ロードバイク)は通常の自転車と異なり、時速60km以上のスピードで高速走行します。また、100名ほど多人数が一斉に走行するため、時に重大な事故につながる恐れがあり、大会中はいつ落車事故が起きるのかと落ち着かない心境でした。



いざ落車事故が発生すれば大会本部役員や審判員などと連携し、どのコースからドクターカーを侵入させて選手に介入するかなど、密な連携が必要になります。救護統括責任者からの指示を受けながらも自分自身の身の安全も確保し、落車した選手を確保して救護所まで搬送します。搬送

後は選手の身体状況を観察し、適切な処置を行いました。擦過傷に対しては、今回は「ソフトシリコンポリウレタンフォーム」を用いて処置を行いました。擦過傷の受傷範囲が比較的大きく、受傷発生から時間が経過すると滲出液が多くなるため、これまでの処置に比べても翌日の皮膚の状況はとてもキレイな状態でした。救護対応で新たな学びを得ることに繋がり、今後の処置対応にも活かしていきたいと思えます。



年度が変わり、今後は「外来コラム」として外来スタッフにもあいことばへの投稿を依頼します。また、「救外コラム」は不定期で掲載してまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。



看護部 外来 師長 河野竜太



熊本城マラソン 救護スタッフ参加



皆様こんにちは、池田病院救急救命士の新屋秀斗です。

朝夕はまだまだ冷え込みますが、お変わりありませんか。

救外コラムが始まってから2回目の投稿となります。スタッフは10人近くいるのですがもう一周したのかと、月日の経つのは早いものですね。

この度私たちは、2月16日に行われた「熊本城マラソン大会」に、救護班として田中医師と看護師2名および救命士3名で参加いたしました。私自身は熊本城マラソンに参加して3年目となりましたが、低体温や脱水等での傷病者が毎年多数発生しており、心肺停止状態となる方も少なくありません。そこで今回の救護班は、一次救命処置のトレーニングを積んだスタッフで挑みました。

今年は複数人の傷病者に加えて心肺停止患者が1名発生しましたが、救護班活動の結果死亡者はなく、大会を無事に終了することができました！また、「バイスタンダー CPR」の重要性を改めて実感しました。来年もぜひ参加したいと思います。

春とはいえ、まだ肌寒い日もございます。くれぐれもご自愛ください。

外傷センター 救急救命士 新屋秀斗



鹿屋体育大学 サッカー部 通信

Vol.30

九州大学サッカーリーグ 予定 (4月-5月中旬分)

4月には、いよいよ2025シーズンが開幕します。鹿屋体育大学サッカー部 (Topチーム) が参加する九州大学サッカーリーグは4/12に開幕し、11月中旬までの期間で10大学2回戦制で計18試合を戦います。鹿屋でのホームゲームには、是非応援にいらしてください！

九州大学サッカーリーグ (4月-5月中旬分)

- 4/12 (土) 11:00- 九州産業大グラウンド
鹿屋体育大学 vs. 沖縄国際大学
- 4/13 (日) 11:00- 九州産業大グラウンド
鹿屋体育大学 vs. 宮崎産経大学
- 4/19 (土) 11:00- 鹿屋体育大学サッカー場
鹿屋体育大学 vs. 九州共立大学
- 5/17 (土) 11:00- 鹿屋体育大学サッカー場
鹿屋体育大学 vs. 長崎国際大学

九州サッカーリーグ 予定 (4月-5月中旬分)

鹿屋体育大学サッカー部の2軍にあたる「NIFS KANOYA FC (NIFS 1st)」が参加する九州大学サッカーリーグは、4/5に開幕して9月上旬まで10チーム2回戦制で計18試合を戦います。また、4月下旬より天皇杯県予選も始まります。

九州サッカーリーグ (4月分のみ)

- 4/5 (土) 11:00-新富フットボールセンターB
NIFS KANOYA 1st vs. ジェイリース
- 4/6 (日) 12:30- 新富フットボールセンターA
NIFS KANOYA 1st vs. ヴェロスクロノス都農
- 4/13 (日) 11:00- 大分スポーツ公園サッカー場A
NIFS KANOYA 1st vs. 日本製鉄大分
- 4/20 (日) 11:00- 鹿屋体育大学サッカー場
NIFS KANOYA 1st vs. KMGホールディングス
- 5/18 (日) 13:00- 西階陸上競技場
NIFS KANOYA 1st vs. 延岡AGATA

天皇杯 鹿児島県予選

- 1回戦 4/27 (日) 11:00 県立サッカー場A
NIFS KANOYA 1st vs. A.T.CIELO
- 準々決勝 4/29 (火祝) 14:00 県立サッカー場A
- 準決勝 5/4 (日) 11:00 県立サッカー場A
鹿屋体育大学 vs. 準決勝進出チーム
- 決勝 5/11 (日) 13:00 白波スタジアム
決勝進出チーム vs. 鹿児島ユナイテッドFC (J3)

サッカー部 SNS のご紹介



Instagram



X (旧 Twitter)



YouTubeチャンネル

池田病院は鹿屋体育大学サッカー部を応援しています！

診療科目	月	火	水	木	金	土
総合内科	今 中 大	担 当 医	本 田 七 海	担 当 医	是 枝 陸	担 当 医
腎臓内科			池 田 徹	池 田 徹	古 城 卓 真	
透析内科	古 城 卓 真 田 淵 智 久	潤 田 智 久	古 城 卓 真 田 淵 智 久	古 城 卓 真 田 淵 智 久	古 城 卓 真 田 淵 智 久	潤 田 智 久 田 淵 智 久
腎炎専門外来		古 城 卓 真				吉 嶺 陽 造 (第4)
血液内科	中 嶋 秀 人 詞	中 嶋 秀 人 詞	吉 満 誠	竹 下 有 節	上 野 卓 也	中 嶋 秀 人 詞
脳神経内科	担 当 医		岩 田 真 一			池 田 賢 一 (第1・3)
消化器内科	新 山 寛 季	大 井 貴 之		新 山 寛 季	大 井 貴 之	大 井 貴 之 (隔週) 新 山 寛 季 (隔週)
消化器専門外来			熊 谷 公 太 郎	小 牧 祐 雅	佐 々 木 文 郷	担 当 医
肝臓専門外来	今 中 大	今 中 大	平 峯 靖 也	今 中 大	今 中 大	担 当 医
消化器内科 内 視 鏡	大 井 貴 之	新 山 寛 季	新 山 寛 季	小 牧 祐 雅 大 井 貴 之	佐 々 木 文 郷 新 山 寛 季	担 当 医
呼吸器内科	寒 川 卓 哉	上 野 史 朗	寒 川 卓 哉		上 野 史 朗 安 田 俊 介	
呼吸器外科	鬼 塚 貴 光	武 田 亜 矢 (第1・3)		鬼 塚 貴 光		
糖尿病内科			川 本 雄 大	上 久 保 定 一 郎 (第3)	西 牟 田 浩	
循環器内科	東 福 勝 徳	池 田 大 輔 東 福 勝 徳	東 福 勝 徳 大 坪 稔 拓	池 田 大 輔	池 田 大 輔	池 田 大 輔
脳神経外科 脳・血管内科		羽 生 未 佳	富 士 川 浩 祥			
リハビリテーション科						川 津 学 (第1)
整形外科	廣 津 匡 隆 井 手 貴 之	川 井 田 秀 文	瀬 戸 口 啓 夫 (隔週) 高 野 純 (隔週)		担 当 医	担 当 医
消化器外科	豊 崎 良 一				豊 崎 良 一	
放射線科(画像診断)	宮 川 勝 也	宮 川 勝 也		宮 川 勝 也	宮 川 勝 也	宮 川 勝 也
心臓血管外科		上 野 隆 幸			上 野 隆 幸	
乳腺外科	船 迫 和		船 迫 和	船 迫 和 (手術日)	船 迫 和	船 迫 和
外傷総合外科				福 森 和 彦		
外 科				田 中 誠		
救 急 科	田 中 誠	田 中 誠	久 木 田 一 朗 田 中 誠	久 木 田 一 朗 富 士 川 浩 祥	石 神 崇	富 士 川 浩 祥 石 神 崇
歯 科	奥 家 涼 子 淵 田 亜 沙 子	奥 家 涼 子	奥 家 涼 子 淵 田 亜 沙 子		奥 家 涼 子 淵 田 亜 沙 子	奥 家 涼 子
健診内視鏡	堀 之 内 史 郎	堀 之 内 史 郎	堀 之 内 史 郎	堀 之 内 史 郎		
血液内科		中 嶋 秀 人 詞	吉 満 誠	竹 下 有 節		
消化器専門外来			熊 谷 公 太 郎	小 牧 祐 雅	佐 々 木 文 郷	担 当 医
消化器内科 内 視 鏡	大 井 貴 之 新 山 寛 季	大 井 貴 之	熊 谷 公 太 郎 新 山 寛 季	小 牧 祐 雅 大 井 貴 之	佐 々 木 文 郷 大 井 貴 之	
循環器内科	東 福 勝 徳		東 福 勝 徳			
循環器内科 (不整脈外来)		田 上 和 幸 山 下 恵 里 香		田 上 和 幸 山 下 恵 里 香	特 殊 外 来 デ バ イ ス (第 2・4) 失 神・ス マ ー ト ウ オ ッ チ (それ以外) 担 当 医	
脳神経外科 脳・血管内科	富 士 川 浩 祥	羽 生 未 佳		石 神 崇		
呼吸器外科		永 田 俊 行 (第2・4)				
リハビリテーション科						川 津 学 (第2)
整形外科			担 当 医		担 当 医 (隔週)	
脳神経外科	担 当 医		岩 田 真 一			
放射線科(画像診断)	宮 川 勝 也	宮 川 勝 也		宮 川 勝 也	宮 川 勝 也	
乳腺外科	船 迫 和		船 迫 和	船 迫 和 (手術日)	船 迫 和 (第1・3)	船 迫 和
外 科			白 濱 浩 司			
救 急 科	田 中 誠	田 中 誠	久 木 田 一 朗 田 中 誠	久 木 田 一 朗 富 士 川 浩 祥	石 神 崇	石 神 崇
歯 科	奥 家 涼 子 淵 田 亜 沙 子	奥 家 涼 子	奥 家 涼 子 淵 田 亜 沙 子		奥 家 涼 子 淵 田 亜 沙 子	奥 家 涼 子

【受付時間】 午前…8:30～11:00 午後…休診(午後診療は予約以外は休診となります) ※急患の場合この限りではありません。

※総合内科以外は必ずご予約の上、ご来院ください。

※かかりつけ医のある方は、必ず紹介状をご持参ください。(紹介状をご持参の場合もご予約が必要となります。)

予約・変更・お問い合わせ

外来診療予約・変更

TEL:0994-45-5278
FAX:0994-45-5259

放射線科

TEL:0994-45-5163
FAX:0994-45-5271

健康診断・人間ドック

TEL:0994-40-8782
乳がん検診も承ります。

歯 科

TEL:0994-43-6468